

令和 7 年度 静岡県

クリーニング師試験問題

(指示があるまで開いてはいけません。)

解答上の注意

- 1 試験問題の数は30問で、解答時間は80分です。
- 2 解答は、「解答用紙」に記入してください。
- 3 それぞれの問題には、3つの答えが書いてあるので、その中から適切なものを1つ選び、該当する□の中に○印を記入してください。

(例) 【問題】 静岡県の県庁所在地として、正しいものはどれか。

- 1 沼津市
- 2 静岡市
- 3 浜松市

正解は静岡市なので、解答用紙には次のように記入してください。

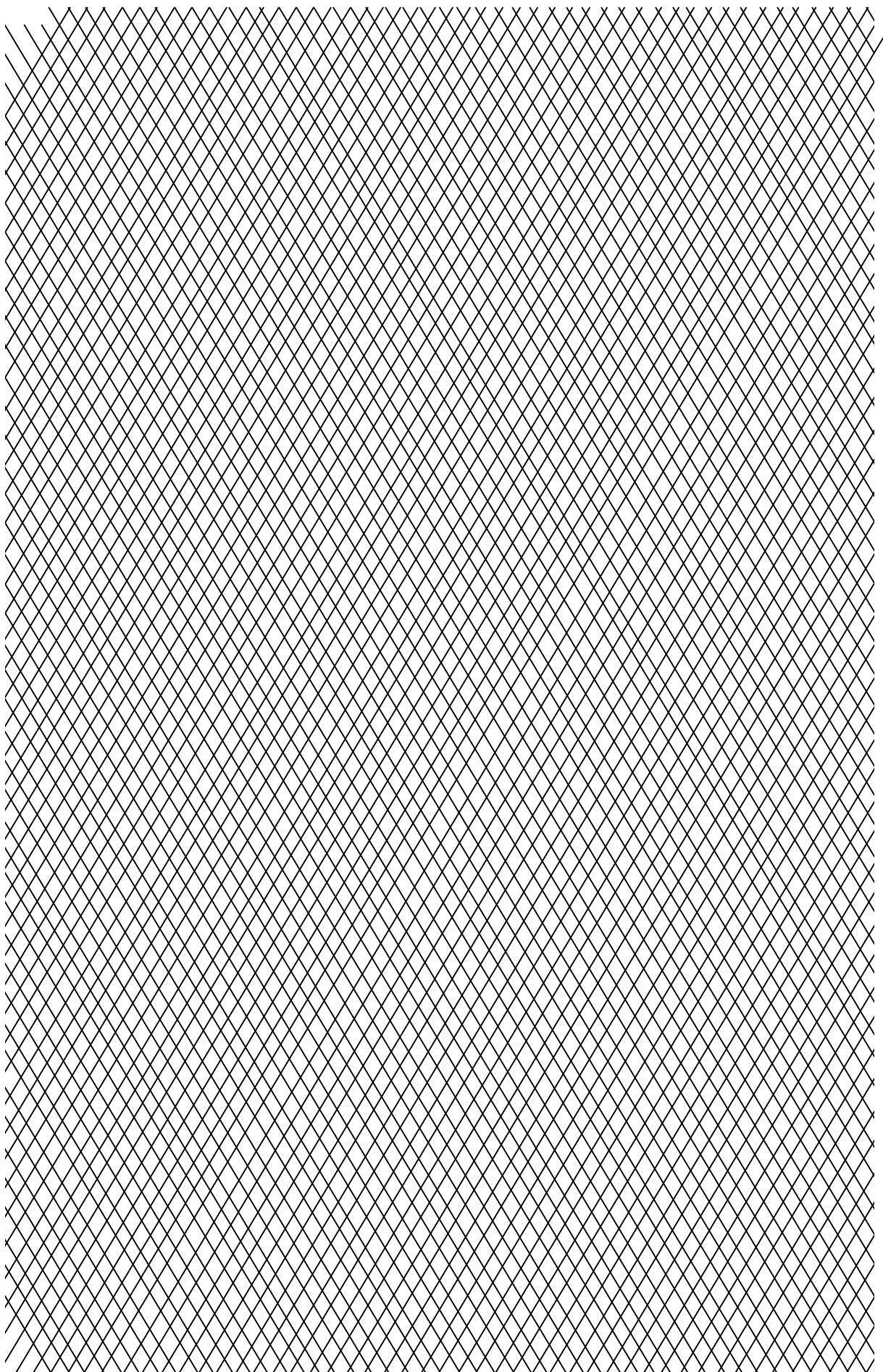
1

2

3

☐☒☐

- 4 1つの問題に対して2つ以上解答した場合は、不正解です。誤って記入した場合は、消しゴムで完全に消してから記入してください。
- 5 問題は持ち帰って構いません。
- 6 その他試験については、試験係員の指示に従ってください。



衛生法規に関する知識

〔問題 1〕 次のクリーニング業法第1条についての記述のうち、()
にあてはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

この法律は、クリーニング業に対して、(ア) 等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を(イ) に適合せるとともに、(ウ) の擁護を図ることを目的とする。

- (ア) — (イ) — (ウ)
- ① 公衆衛生 — 公共の福祉 — 利用者の利益
2 公衆衛生 — 利用者の利益 — 公共の福祉
3 生活衛生 — 公共の福祉 — 利用者の利益

〔問題 2〕 次のクリーニング業法第2条の定義についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 「クリーニング師」とは、都道府県知事が行なうクリーニング師試験に合格した者をいう。
② 着物を解いて洗濯する洗い張り業はクリーニング業に該当しない。
3 洗濯物の処理をせず、受け取り及び引き渡しのみを行う施設は「クリーニング所」に含まれない。

〔問題 3〕 次の伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものについての記述のうち、クリーニング業法施行規則に指定されている洗濯物として、誤っているものはどれか。

- 1 伝染性の疾病にかかっている者が使用した物として引き渡されたもの
2 おむつ、パンツその他これに類するもの
③ 宿泊施設で使用された寝具その他これに類するもの

〔問題 4〕 次のクリーニング業法における営業者の衛生措置等についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 伝染性疾病の病原体による汚染のおそれのある洗濯物を取り扱う場合は、洗濯する前に必ず消毒すること。
- 2 クリーニング師の監督の下であれば、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行って良い。
- ③ 洗場については、床が、不浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていること。

〔問題 5〕 次のクリーニング業法施行規則におけるクリーニング所の開設届出書に記載しなければならない事項についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① クリーニング師の氏名、性別、免許登録年月日
- 2 クリーニング所開設の予定年月日
- 3 従事者数

〔問題 6〕 次の利用者に対する説明義務等についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 営業者は、洗濯物の受け取り及び引き渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- ② クリーニング所においては、苦情の申出先を店頭に掲示、あるいは洗濯物の受け取り及び引き渡しをしようとする際に書面を配布しなければならない。
- 3 車両のみを用いて取次店として営業するいわゆる無店舗取次店においては、苦情の申出先を記載した書面を配布しなければならない。

【問題 7】 次のクリーニング業法におけるクリーニング師の免許についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 免許証を破り、汚し、又は失ったときは、1 か月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 2 本籍を変更したときは、10 日以内に免許を与えた都道府県知事に訂正の申請をしなければならない。
- ③ 免許証の再交付申請後、失った免許証を発見したときは、自らの責任において廃棄しなければならない。

【問題 8】 次のクリーニング業法におけるクリーニング師の研修及び業務従事者の講習についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、クリーニング師の資質向上を図るための研修を定期的に受講しなければならない。
- 2 営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師及び業務従事者に対し、研修及び講習を受けさせる必要はない。
- 3 クリーニング所の業務従事者は、全員が3年ごとに講習を受講しなければならない。

【問題 9】 次の行政処分についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 都道府県知事は、衛生措置等の改善に関する命令に従わない営業者に対し、期間を定めずに営業を禁止することができる。
- ② 都道府県知事は、洗濯物の処理等の業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、公衆衛生上不相当と認めるときは、期間を定めて業務を停止することができる。
- 3 都道府県知事は、保健所職員（環境衛生監視員）の立入検査を拒み又は妨げた営業者に対し、営業の停止を命ずることができる。

[問題 10] 次の免許取消についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。
- 2 免許の取消処分を受けた者は、5日以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- ③ 都道府県知事は、クリーニング所の業務に従事するクリーニング師が、クリーニング師研修を受講しないときは、その免許を取り消すことができる。

公衆衛生に関する知識

〔問題 11〕 次の日本国憲法第 25 条についての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
国は、すべての (ア) について、(イ)、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

- | | (ア) | | (イ) |
|---|-------|----|-------|
| 1 | 経済部面 | —— | 生活保障 |
| ② | 生活部面 | —— | 社会福祉 |
| 3 | 社会部面 | —— | 環境衛生 |

〔問題 12〕 次のクリーニング業における公衆衛生についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 クリーニング所においては、常に公衆衛生を意識した営業が求められている。
- 2 クリーニング所の従業者は、感染症の分泌物が付着した洗濯物に触れることによる感染リスクがある。
- ③ クリーニング所の従業者の健康管理は、感染症が流行している時期のみ気をつければよい。

〔問題 13〕 次の手洗い、手指消毒についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 手に目に見える汚れがあっても、手指消毒をすれば、手洗いをしなくても十分な効果がある。
- 2 感染症の予防策としては、流水と石鹼による手洗いと擦式アルコール性消毒薬を使用する手指消毒が予防策として効果がある。
- 3 洗濯処理場での仕分け（分別）作業の後には、手洗いもしくは手指消毒を実施する。

【問題 14】 次のノロウイルスを疑う吐しゃ物やふん便が付着しているリネン類の処理についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 下洗いしたリネン類の消毒は75℃・1分間以上又は70℃・10分間以上の熱水洗濯が適している。
- ② 布団などすぐに洗濯できない場合は、表面の汚物を取り除き、スチームアイロンで熱殺菌し、布団乾燥機を使うと効果的である。
- 3 下洗いの際には、次亜塩素酸ナトリウムが200ppmになるようにして消毒する。

【問題 15】 次のクリーニング所の施設の立地、構造や設備についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場は、住居系・商業系用途地域の立地（建築）が認められている。
- 2 引火性溶剤を用いないドライクリーニング工場は、工業系用途地域の立地（建築）が認められていない。
- ③ クリーニング所における洗濯業に用いる洗浄施設は、水質汚濁防止法の特定施設に該当する。

【問題 16】 次のクリーニング業における新型コロナウイルス感染症対策についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 新型コロナウイルス感染症患者が使用したリネン類等は、特別な洗濯と乾燥が必要である。
- 2 接客前後や洗濯物を扱った後には手指衛生を実施する。
- 3 出勤前に、自身の健康確認を行い、発熱、咳、のどの痛みなどの症状があった場合は、出勤せずに上司に連絡する。

【問題 17】 次の標準営業約款制度（Sマーク制度）についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① Sマーク制度は、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律（生衛法）に基づく制度である。
- 2 Sマーク制度は、営業者保護のための制度である。
- 3 Sマーク制度は、クリーニング業、旅館業、公衆浴場業の3業種について設定されている。

【問題 18】 次のドライクリーニング溶剤に関する規制についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 石油系溶剤は、有機溶剤中毒予防規則において、第3種有機溶剤等に該当する。
- 2 テトラクロロエチレンは、特定化学物質障害防止規則により特別有機溶剤として規制されている。
- ③ クリーニング所で使用する洗剤や薬剤には、リスクアセスメント対象物である化学物質が含まれることはない。

【問題 19】 次のクリーニング所における衛生管理要領についての記述のうち、（ ）にあてはまる語句として、正しいものはどれか。

この要領は、クリーニング所における施設、設備、器具、溶剤等の（ ）的管理、洗濯物の適正な処理及び衛生的取扱い、従事者の健康管理等の措置により、クリーニングに関する（ ）の向上及び確保を図ることを目的とする。

- 1 品質
- ② 衛生
- 3 サービス

【問題 20】 次の洗濯溶剤や廃棄物についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① テトラクロロエチレンや石油系溶剤などを含む廃油等の廃棄物は、すべて特別管理産業廃棄物に分類される。
- 2 P R T R 制度（化学物質排出移動量届出制度）により、営業者による化学物質の自主的な管理の改善が促進され、環境の保全が期待される。
- 3 ドライクリーニングに使用する石油系溶剤やテトラクロロエチレンは、V O C（揮発性有機化合物）に該当する。

洗濯物の処理に関する知識

〔問題 21〕 次のクリーニングの種類についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 ドライクリーニングは、石油系溶剤、塩素系溶剤、フッ素系溶剤などを用いる洗濯方法で、形が崩れたり、縮みやすい品物を洗うのに適している。
- ② ウエットクリーニングは、ワッシャーと呼ぶ洗濯機を使い、温水で回転洗浄する洗浄作用の強い洗濯方法で、強い汚れの除去に適している。
- 3 ランドリーは、石けんや洗剤とアルカリ剤を用いて機械洗いする洗濯方法で、強い機械力に耐える素材を洗うのに適している。

〔問題 22〕 次のドライクリーニング溶剤の特性とドライクリーニング適性との関係についての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

水の溶解度が (ア) ほど、水溶性の汚れの洗浄に効果的で、カウリブタノール値 (KB 値) が (イ) ほど、油溶性の汚れの洗浄力が大きく、洗浄時間を短縮できる。粘度、表面張力が (ウ) ほど、衣料に浸透しやすく、きれいに洗うことができ、溶剤の比重が (エ) ほど、たたき洗い効果が小さく、衣料を傷めない。

- | | (ア) | | (イ) | | (ウ) | | (エ) |
|---|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| ① | 大きい | —— | 大きい | —— | 小さい | —— | 小さい |
| 2 | 小さい | —— | 大きい | —— | 小さい | —— | 大きい |
| 3 | 大きい | —— | 小さい | —— | 大きい | —— | 小さい |

〔問題 23〕 次のドライクリーニングのチャージシステムについての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 チャージシステムでは、ソープ濃度を0.5～1%に調整するのが一般的である。
- 2 ソープには、静電気の発生を抑制する作用があり、石油系溶剤を使用する場合は、引火・爆発の危険を防止する。
- ③ ソープが規定濃度であれば、繰り返し使用しても安定した洗浄力が期待できる。

〔問題 24〕 次のしみ抜きに応用する基本作用についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 酵素作用は、熱や時間の経過で凝固したたんぱく質汚れなどを水に溶ける汚れに変えて除去するものである。
- ② 溶解作用は、固形石けんやグリセリン等を利用して、微細な不溶性汚れを除去するものである。
- 3 化学作用は、薬品を利用してしみの性質を変化させて除去するものである。

〔問題 25〕 次のランドリー用助剤についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 カルボキシメチルセルロース（CMC）は、綿布などに対しての再汚染防止効果が優れ、洗濯物の白さを向上させる。
- ② 過炭酸ナトリウムは、低温で漂白効果がある反面、高温では急激な分解が起こり、生地を損傷する。
- 3 ポリ酢酸ビニルは、最も常用されている合成糊で、少量で硬さを発揮できる。

〔問題 26〕 次の和服のクリーニング方法についての記述のうち、（ ）にあてはまる語句として、正しいものはどれか。

衿、袖口、裾口、裾、身頃の一部の汚れを、部分的に洗浄して除去する方法を（ ）という。溶剤としては、ベンジンや石油系溶剤を用い、乾燥は自然乾燥をする。

- ① 生洗い
- 2 丸洗い
- 3 洗い張り

〔問題 27〕 次の麻についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 亜麻（リネン）には、柔らかく綿に近い風合いがあり、苧麻（ラミー）は、麻らしい感触と涼感に優れている。
- 2 綿よりも染料の吸収が悪いため、濃い色に染まりにくく、染まっても脱色しやすい特性がある。
- ③ 麻のニット製品は、横方向が収縮し、縦方向に伸びやすく、全体に形態変化を起こしやすい。

〔問題 28〕 次の獣毛についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① アンゴラは、獣毛繊維の中では特にドライクリーニングで再汚染、縮絨（フェルト化）収縮、風合い変化、毛抜けが生じやすい。
- 2 カシミヤは、強いコシがあり、スラックスに適するが、鋭角に付けられた折山線部分（クリースライン）など着用中に力がかかる部分の損傷に注意が必要。
- 3 モヘヤは、撚りを甘くしているため、機械的な摩擦や手荒な取り扱いをすると、毛並みが乱れ、毛羽の脱落や風合いの低下を招く。

〔問題 29〕 次の合成繊維についての記述のうち、()にあてはまる語句として、正しいものはどれか。

()は、比重が0.91で繊維の中で最も軽く、水に浮く。融点は160℃で耐熱性は低く、吸湿性が全くない。中わたに()を使用したアパレル製品は、タンブル乾燥やプレスで熱で収縮する欠点があるため注意する。

- 1 ポリウレタン
- 2 アラミド
- ③ ポリプロピレン

〔問題 30〕 次の外観の変化に関する繊維加工についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 フロック加工は、織物を凹凸のついた加熱ローラと、紙や綿のローラの間に通して、凹凸のある模様を付ける加工。
- ② ピーチ加工は、合成繊維を用いた織編物の表面を軽く起毛し、ソフトでさらっとした感触とする加工。
- 3 モアレ加工は、布に接着剤を塗った後に、静電気を帯電させて、布面に細かく短い繊維の毛羽を振動や静電気により垂直に植え付ける加工。

